

# 運用報告書（全体版）

追加型投信／海外／債券

## トルコ債券オープン（毎月決算型）為替アクティブヘッジ

作成対象期間：2014年6月27日～2014年12月26日

第10期（決算日 2014年7月28日） 第13期（決算日 2014年10月27日）  
第11期（決算日 2014年8月26日） 第14期（決算日 2014年11月26日）  
第12期（決算日 2014年9月26日） 第15期（決算日 2014年12月26日）

### <受益者のみなさまへ>

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび「トルコ債券オープン（毎月決算型）為替アクティブヘッジ」は、2014年12月26日に第15期の決算を行いましたので、第10期から第15期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2023年7月26日まで（2013年8月23日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	トルコ債券オープン マザーファンド受益証券
	マザーファンド	トルコ共和国の公社債（発行体の所在地はトルコ共和国に限りませ。）
運用方法	・トルコ共和国の公社債（発行体の所在地はトルコ共和国に限りませ。）を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。 ・原則として、実質外貨建資産に対して0%～100%の範囲で、適時、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりませ。	
主な投資制限	当ファンド	・マザーファンドへの投資割合は、制限を設けませ。 ・社債への実質投資割合は、取得時において、当ファンドの純資産総額の40%以内とませ。
	マザーファンド	・外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けませ。 ・社債への投資割合は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の40%以内とませ。 ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けませ。
分配方針	毎月26日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とませ。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定とませ。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあひませ。）	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者から投資された資金をまとめた投資信託をベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して、マザーファンドにおいて実質的な運用を行う仕組みです。

本報告書に関するお問い合わせ先は、以下の通りです。

コールセンター

フリーダイヤル **0120-759311**

受付時間は営業日の午前9時～午後5時

**国際投信投資顧問**

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号  
ホームページ <http://www.kokusai-am.co.jp>

・本報告書において、作成対象期間を当作成期という場合があります。

## ■ 設定以来の運用実績

	決 算 期	基 準 価 額			債券組入率 比	債券先物率 比	純 資 産 額
		(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率			
第1作成期	(設定日) 2013年 8月23日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 35
	1期 (2013年10月28日)	10,349	50	4.0	93.7	—	42
	2期 (2013年11月26日)	10,232	50	△0.6	93.7	—	46
	3期 (2013年12月26日)	9,930	50	△2.5	91.7	—	45
第2作成期	4期 (2014年 1月27日)	9,004	50	△8.8	89.6	—	41
	5期 (2014年 2月26日)	9,318	50	4.0	93.6	—	42
	6期 (2014年 3月26日)	9,076	50	△2.1	92.2	—	42
	7期 (2014年 4月28日)	9,615	50	6.5	93.9	—	41
	8期 (2014年 5月26日)	9,988	50	4.4	93.6	—	48
	9期 (2014年 6月26日)	9,907	50	△0.3	93.0	—	55
第3作成期	10期 (2014年 7月28日)	10,067	50	2.1	90.4	—	56
	11期 (2014年 8月26日)	9,656	50	△3.6	92.7	—	55
	12期 (2014年 9月26日)	9,644	50	0.4	89.5	—	55
	13期 (2014年10月27日)	9,785	50	2.0	93.2	—	56
	14期 (2014年11月26日)	10,426	50	7.1	91.7	—	62
	15期 (2014年12月26日)	10,116	50	△2.5	91.5	—	63

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ■ 当作成期の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
第10期	(期 首) 2014年 6月26日	円 9,907	% —	% 93.0	% —
	6月末	9,891	△0.2	93.0	—
	(期 末) 2014年 7月28日	10,117	2.1	90.4	—
第11期	(期 首) 2014年 7月28日	10,067	—	90.4	—
	7月末	10,021	△0.5	89.4	—
	(期 末) 2014年 8月26日	9,706	△3.6	92.7	—
第12期	(期 首) 2014年 8月26日	9,656	—	92.7	—
	8月末	9,757	1.0	90.7	—
	(期 末) 2014年 9月26日	9,694	0.4	89.5	—
第13期	(期 首) 2014年 9月26日	9,644	—	89.5	—
	9月末	9,547	△1.0	89.7	—
	(期 末) 2014年10月27日	9,835	2.0	93.2	—
第14期	(期 首) 2014年10月27日	9,785	—	93.2	—
	10月末	9,922	1.4	93.2	—
	(期 末) 2014年11月26日	10,476	7.1	91.7	—
第15期	(期 首) 2014年11月26日	10,426	—	91.7	—
	11月末	10,593	1.6	91.0	—
	(期 末) 2014年12月26日	10,166	△2.5	91.5	—

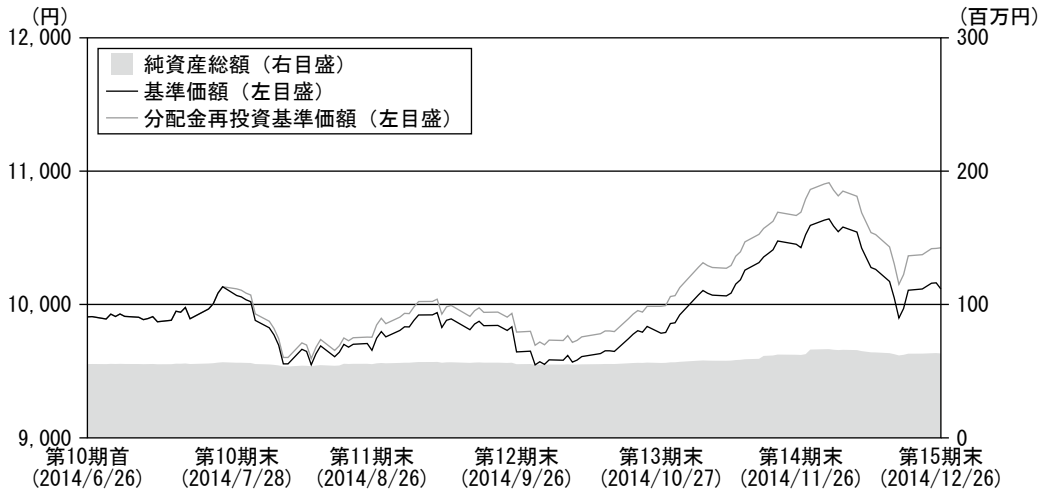
(注1) 各期末基準価額は分配金込み、騰落率は各期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

## ■ 運用経過

### ■ 基準価額等の推移について（作成対象期間：2014年6月27日～2014年12月26日）



当ファンドの作成対象期間中の騰落率は  
プラス5.2%となりました。

第10期首：9,907円  
第15期末：10,116円（既払分配金300円（税込み））  
騰落率：5.2%（分配金再投資ベース）

（注）騰落率は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
※分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではありません。  
※分配金再投資基準価額は、第10期首の基準価額の値と等しくして指数化したものです。

### ■ 基準価額の主な変動要因

#### ➢ 債券要因（債券の利息や価格変動に起因するもの）

- ・トルコ・リラ建債券の相対的に高い利息収入を得られたことがプラスに寄与しました。
- ・トルコ・リラ建債券の利回りが低下（価格は上昇）したことがプラスに寄与しました。

#### ➢ 為替要因（為替変動に起因するもの）

- ・トルコ・リラが円に対して上昇したことがプラスに寄与しました。
- ・実質外貨建資産に対して、適時、対円での為替ヘッジを行ったことで、為替変動リスクは低減しました。一方、円とトルコ・リラとの金利差相当分のヘッジコストがかかったことがマイナスに作用しました。

## 投資環境について（作成対象期間：2014年6月27日～2014年12月26日）

## ＞債券市場の動向

## 〈トルコ5年国債利回りの推移〉



トルコ中央銀行が政策金利を引き下げたものの、米連邦準備理事会（FRB）の量的金融緩和終了への懸念を背景に、一時トルコ国債の利回りは上昇しました。しかしその後は、インフレ率が緩やかに低下したことや、需給の緩和を背景に原油価格が下落したことなどから、作成対象期間を通してみると利回りは低下しました。足元では、原油価格急落に伴い市場でリスク回避傾向が高まりトルコ国債が売られたことから、利回りはその低下幅を縮めました。

## ＞為替市場の動向

## 〈トルコ・リラ対円レートの推移〉



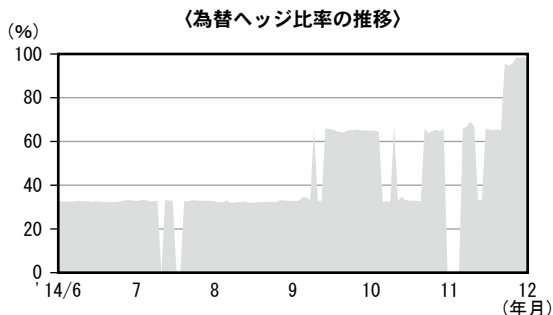
日本銀行が10月に質的・量的金融緩和の拡大を決定したことや、原油価格の下落により資源輸入国であるトルコの経常赤字縮小期待が高まり、トルコ・リラ安圧力が緩和したことなどから、トルコ・リラは円に対して上昇しました。足元では、ギリシャの政情不安などを背景とした市場センチメント（投資家心理）の悪化からトルコ・リラに売り圧力がかかり、トルコ・リラはその上昇幅を縮めました。

ポートフォリオについて（作成対象期間：2014年6月27日～2014年12月26日）

## 《トルコ債券オープン（毎月決算型）為替アクティブヘッジ》

- ・トルコ債券オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。
- ・実質外貨建資産に対しては、運用指図委託契約に基づき、シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドに為替ヘッジの指図に関する権限を委託し、適時、対円での為替ヘッジを行いました。
- ・マザーファンドの作成対象期間末の組入比率は、96.4%となりました。

### 為替ヘッジ比率



（注）為替ヘッジ比率は、実質トルコ・リラ建資産に対する対円での為替ヘッジ比率です。

## 《トルコ債券オープン マザーファンド》

- ・当マザーファンドは、トルコ共和国の公社債（発行体の所在地はトルコ共和国に限ります。）を主要投資対象とし、これらの公社債を高位に組み入れて運用しました。トルコ・リラ建以外の公社債に投資した場合には、実質的にトルコ・リラ建となるように為替取引を行いました。
- ・投資する社債は、取得時においてMoody's社、S&P社、Fitch社のいずれかの格付けを有するものとなりました。ただし、取得時においてCCC格相当以下の格付けを有しているものには投資を行いませんでした。
- ・作成対象期間末の信用格付別の組入比率は、BBB格97.4%となりました。

（注）信用格付別の組入比率は、Moody's社、S&P社、Fitch社の格付けのうち、上位の格付けを使用し、算出しています。（出所：Bloomberg）

### 債券種別組入比率

（単位：%）

種別	2014年6月26日	2014年12月26日
国債	85.8	84.4
社債	12.7	13.1
現金等	1.5	2.6
合計	100.0	100.0

（注）組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率で、未収利息等を含みます。

### 通貨別組入比率（為替取引考慮後）

（単位：%）

通貨	2014年6月26日	2014年12月26日
円	35.4	95.6
トルコ・リラ	64.2	2.8
米ドル	0.4	1.7
合計	100.0	100.0

（注）組入比率は、当ファンドが実質外貨建資産に対して行う対円での為替ヘッジを考慮して算出した純資産総額に対する比率です。

### 通貨別組入比率（為替取引考慮後）

（単位：%）

通貨	2014年6月26日	2014年12月26日
トルコ・リラ	98.3	96.8
米ドル	0.4	1.7
円	1.3	1.5
合計	100.0	100.0

（注）トルコ・リラ建以外の公社債に投資した場合には、原則として実質的にトルコ・リラ建となるように為替取引を行います。通貨別組入比率（為替取引考慮後）は、マザーファンドの純資産総額に対する比率を記載しています。

## ■ 分配金について

分配については、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、第10期から第15期までの1万円当たり分配金（税込み）はそれぞれ50円とさせていただきます。なお、分配金に充てなかった留保益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に則した運用を行います。

## ■ 今後の運用方針

### ➤ トルコ債券オープン（毎月決算型）為替アクティブヘッジ

- ・引き続き、トルコ債券オープン マザーファンドの組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。
- ・原則として、実質外貨建資産に対して0%~100%の範囲で、適時、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジの指図に関する権限をシティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託します。

### ➤ トルコ債券オープン マザーファンド

- ・引き続き、当マザーファンドはトルコ共和国の公社債（発行体の所在地はトルコ共和国に限ります。）を主要投資対象とし、これらの公社債を高位に保つ方針です。トルコ・リラ建以外の公社債に投資した場合には、実質的にトルコ・リラ建となるように為替取引を行う方針です。
- ・投資する社債は、原則として取得時においてMoody's社、S&P社、Fitch社のいずれかの格付けを有するものとし、ただし、取得時においてCCC格相当以下の格付けを有しているものには原則として投資を行いません。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第10期～第15期 (2014/6/27～2014/12/26)		項目の概要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬	75	0.753	(a) 信託報酬＝作成対象期間の平均基準価額× 信託報酬率× $\frac{\text{作成対象期間の日数}}{\text{年間日数}}$ 作成対象期間の平均基準価額は9,955円 です。
（投信会社）	(35)	(0.351)	・当ファンドの運用、受託会社への運用指図、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(38)	(0.380)	・交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	・当ファンドの財産の保管および管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	11	0.113	(b) その他費用＝ $\frac{\text{作成対象期間のその他費用}}{\text{作成対象期間の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(11)	(0.111)	・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用等
（監査費用）	(0)	(0.002)	・監査法人に支払われるファンドの監査費用等
合 計	86	0.866	

(注1) 作成対象期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は作成対象期間末の税率を採用しています。

(注3) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成対象期間の平均基準価額（各月末の単純平均）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注6) 単位未満は0と表示しています。



## ■ 当作成期の売買及び取引の状況（2014年6月27日から2014年12月26日まで）

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 10 期 ～ 第 15 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
トルコ債券オープン マザーファンド	千口 12,391	千円 13,545	千口 12,926	千円 13,819

(注) 口数・金額の単位未満は切り捨てです。

## ■ 当作成期の利害関係人<sup>※</sup>との取引状況等（2014年6月27日から2014年12月26日まで）

### (1) 利害関係人との取引状況

#### ① トルコ債券オープン（毎月決算型）為替アクティブヘッジ

決 算 期	第 10 期 ～ 第 15 期					
	区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D
為 替 先 物 取 引						

#### ② トルコ債券オープン マザーファンド

決 算 期	第 10 期 ～ 第 15 期					
	区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D
公 社 債						
為 替 先 物 取 引	1,922	1,922	100.0	1,919	1,919	100.0
為 替 直 物 取 引	143	136	95.1	193	166	86.0

平均保有割合7.8%

(平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子投資信託の親投資信託所有口数の割合です。)

### (2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第 10 期 ～ 第 15 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	—千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	—千円
(B) / (A)	—%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行株式会社です。

## ■ 自社による当ファンドの設定・解約状況（2014年6月27日から2014年12月26日まで）

当作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	当作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 30	百万円 —	百万円 —	百万円 30	商品性を適正に維持するための取得

## ■ 組入資産の明細

### 親投資信託残高

種 類	第 2 作 成 期 末	第 3 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
トルコ債券オープン マザーファンド	千口 53,339	千口 52,803	千円 60,983

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

## ■ 投資信託財産の構成

2014年12月26日現在

項 目	第 3 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
トルコ債券オープン マザーファンド	千円 60,983	% 88.5
コール・ローン等、その他	7,914	11.5
投資信託財産総額	68,897	100.0

(注1) トルコ債券オープン マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨純資産（740,229千円）の投資信託財産総額（750,662千円）に対する比率は98.6%です。

(注2) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、12月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=120.32円、1トルコ・リラ=51.90円です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てです。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2014年7月28日) (2014年8月26日) (2014年9月26日) (2014年10月27日) (2014年11月26日) (2014年12月26日)現在

項 目	第 10 期 末	第 11 期 末	第 12 期 末	第 13 期 末	第 14 期 末	第 15 期 末
	円	円	円	円	円	円
(A)資 産	74,514,241	72,722,523	72,933,618	91,287,237	141,948,733	125,346,818
コール・ローン等	2,644,152	2,190,000	2,825,562	2,587,468	4,790,972	6,020,095
トルコ債券オープン マザーファンド(評価額)	54,350,643	53,300,451	52,975,851	54,239,680	60,148,103	60,983,169
未 収 入 金	17,519,443	17,232,070	17,132,202	34,460,087	77,009,653	58,343,547
未 収 利 息	3	2	3	2	5	7
(B)負 債	18,196,828	17,485,133	17,697,240	35,151,946	79,802,843	62,083,628
未 払 金	17,843,825	17,133,562	17,338,786	34,794,297	79,431,967	61,681,170
未払収益分配金	279,700	286,022	286,390	286,857	298,041	312,680
未 払 解 約 金	—	—	—	—	—	10,162
未 払 信 託 報 酬	73,104	65,372	71,870	70,599	72,639	79,400
その他未払費用	199	177	194	193	196	216
(C)純資産総額(A-B)	56,317,413	55,237,390	55,236,378	56,135,291	62,145,890	63,263,190
元 本	55,940,002	57,204,460	57,278,037	57,371,551	59,608,245	62,536,181
次期繰越損益金	377,411	△ 1,967,070	△ 2,041,659	△ 1,236,260	2,537,645	727,009
(D)受益権総口数	55,940,002口	57,204,460口	57,278,037口	57,371,551口	59,608,245口	62,536,181口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,067円	9,656円	9,644円	9,785円	10,426円	10,116円

(注1) 当ファンドの第10期首元本額は55,810,797円、第10期～第15期中追加設定元本額は6,951,171円、第10期～第15期中一部解約元本額は225,787円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第10期末1,0067円、第11期末0.9656円、第12期末0.9644円、第13期末0.9785円、第14期末1.0426円、第15期末1.0116円です。

(注3) 第11期末から第13期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は第11期末1,967,070円、第12期末2,041,659円、第13期末1,236,260円です。

※本運用報告書作成時点において、本計算期間に係るファンドの監査は終了していません。

## ■ 損益の状況

第10期（自2014年6月27日 至2014年7月28日） 第13期（自2014年 9月27日 至2014年10月27日）  
 第11期（自2014年7月29日 至2014年8月26日） 第14期（自2014年10月28日 至2014年11月26日）  
 第12期（自2014年8月27日 至2014年9月26日） 第15期（自2014年11月27日 至2014年12月26日）

項 目	第 10 期	第 11 期	第 12 期	第 13 期	第 14 期	第 15 期
	円	円	円	円	円	円
(A)配当等収益	74	65	77	48	108	99
受取利息	74	65	77	48	108	99
(B)有価証券売買損益	1,251,088	△1,948,214	286,284	1,166,331	4,096,839	△1,566,905
売 買 益	1,780,524	240,413	667,563	2,089,519	8,946,187	4,695,755
売 買 損	△ 529,436	△2,188,627	△ 381,279	△ 923,188	△4,849,348	△6,262,660
(C)信託報酬等	△ 73,303	△ 65,549	△ 72,064	△ 70,792	△ 94,435	△ 79,616
(D)当期損益金(A+B+C)	1,177,859	△2,013,698	214,297	1,095,587	4,002,512	△1,646,422
(E)前期繰越損益金	△ 505,808	391,998	△1,901,673	△1,973,766	△1,164,953	2,532,908
(F)追加信託差損益金	△ 14,940	△ 59,348	△ 67,893	△ 71,224	△ 1,873	153,203
(配当等相当額)	( 787,003)	( 841,790)	( 846,147)	( 850,118)	( 945,467)	( 1,136,044)
(売買損益相当額)	(△ 801,943)	(△ 901,138)	(△ 914,040)	(△ 921,342)	(△ 947,340)	(△ 982,841)
(G)計(D+E+F)	657,111	△1,681,048	△1,755,269	△ 949,403	2,835,686	1,039,689
(H)収益分配金	△ 279,700	△ 286,022	△ 286,390	△ 286,857	△ 298,041	△ 312,680
次期繰越損益金(G+H)	377,411	△1,967,070	△2,041,659	△1,236,260	2,537,645	727,009
追加信託差損益金	△ 14,940	△ 65,069	△ 67,893	△ 71,224	△ 1,873	146,950
(配当等相当額)	( 787,403)	(842,803)	( 846,206)	( 850,196)	( 957,656)	( 1,131,973)
(売買損益相当額)	(△ 802,343)	(△ 907,872)	(△ 914,099)	(△ 921,420)	(△ 959,529)	(△ 985,023)
分配準備積立金	1,556,925	1,547,740	1,549,204	1,590,572	2,539,518	2,531,202
繰越損益金	△1,164,574	△3,449,741	△3,522,970	△2,755,608	—	△1,951,143

(注1) 損益の状況の中で

- ・ (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- ・ (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- ・ (F) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 運用指図に関する権限の一部を委託するために要する費用（2014年6月27日から2014年12月26日まで）は、57,651円です。

(注3) 分配金の計算過程

項 目	第 10 期末	第 11 期末	第 12 期末	第 13 期末	第 14 期末	第 15 期末
(a) 配当等収益(費用控除後)	344,471円	272,514円	288,122円	328,225円	371,324円	304,721円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後)	0	0	0	0	875,777	0
(c) 信託約款に規定する収益調整金	787,403	848,524	846,206	850,196	957,656	1,138,226
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	1,492,154	1,555,527	1,547,472	1,549,204	1,590,458	2,532,908
(e) 分配対象収益(a+b+c+d)	2,624,028	2,676,565	2,681,800	2,727,625	3,795,215	3,975,855
(f) 分配金額	279,700	286,022	286,390	286,857	298,041	312,680
(g) 分配金額(1万口当たり)	50	50	50	50	50	50

## ■ 分配金のお知らせ

決 算 期	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期
1万口当たり分配金(税引前)	50円	50円	50円	50円	50円	50円
分配金落ち後基準価額	10,067円	9,656円	9,644円	9,785円	10,426円	10,116円

### 分配原資の内訳

(1万口当たり、税込み)

	第10期 2014年6月27日～ 2014年7月28日	第11期 2014年7月29日～ 2014年8月26日	第12期 2014年8月27日～ 2014年9月26日	第13期 2014年9月27日～ 2014年10月27日	第14期 2014年10月28日～ 2014年11月26日	第15期 2014年11月27日～ 2014年12月26日
当期分配金	50円	50円	50円	50円	50円	50円
(対基準価額比率)	0.494%	0.515%	0.516%	0.508%	0.477%	0.492%
当期の収益	50円	47円	50円	50円	50円	48円
当期の収益以外	－円	3円	－円	－円	－円	2円
翌期繰越分配対象額	419円	417円	418円	425円	586円	585円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補てん後の有価証券売買等損益（評価益を含む）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ■ その他

投資信託及び投資法人に関する法律等の改正に伴い、2014年12月1日以降に作成期日（作成基準日となるファンドの決算日）を迎える運用報告書については、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項を記載した「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本報告書）に二段階化されることになりました。

「運用報告書（全体版）」は弊社のホームページでご覧いただけますが、ご請求いただいた場合には交付いたします。詳しくは、販売会社までお問い合わせください。

## ■ 約款変更について（作成対象期間：2014年6月27日～2014年12月26日）

### トルコ債券オープン（毎月決算型）為替アクティブヘッジ

- 「運用報告書（全体版）」について電磁的方法により提供するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 投資信託の併合及び約款変更並びに投資信託契約の解約に関する書面決議に係る受益者数要件を廃止するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 受益者の利益に及ぼす影響が軽微な投資信託の併合に関する書面決議を不要とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 反対受益者の受益権買取請求の規定を適用除外とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- デリバティブ取引等に係る投資制限を規定するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。

### トルコ債券オープン マザーファンド

- 投資信託の併合及び約款変更並びに投資信託契約の解約に関する書面決議に係る受益者数要件を廃止するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 受益者の利益に及ぼす影響が軽微な投資信託の併合に関する書面決議を不要とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 反対受益者の受益権買取請求の規定を適用除外とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- デリバティブ取引等に係る投資制限を規定するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。

# トルコ債券オープン マザーファンド

## 運用報告書（全体版）

第3期（決算日 2014年12月26日）

（計算期間：2014年6月27日～2014年12月26日）

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 要 投 資 対 象	トルコ共和国の公社債（発行体の所在地はトルコ共和国に限ります。）
主 な 投 資 制 限	社債への投資割合は、取得時において、信託財産の純資産総額の40%以内とします。 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。

### 国際投信投資顧問

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号  
URL <http://www.kokusai-am.co.jp>

## ■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額		参考指数 J. P. Morgan GBI-EM Broad Turkey (円換算)		債券組入 率	債券先物 率	純資産 総額
	円	騰落率	円換算	騰落率			
(設定日) 2013年 7月22日	10,000	—	10,000	—	—	—	百万円 497
1期 (2013年12月26日)	9,554	△ 4.5	9,620	△ 3.8	95.2	—	765
2期 (2014年 6月26日)	10,016	4.8	10,067	4.6	96.3	—	690
3期 (2014年12月26日)	11,549	15.3	11,680	16.0	94.9	—	748

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

## ■ 当期の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数 J. P. Morgan GBI-EM Broad Turkey (円換算)		債券組入 率	債券先物 率
	円	騰落率	円換算	騰落率		
(期首) 2014年 6月26日	10,016	—	10,067	—	96.3	—
6月末	9,996	△ 0.2	10,040	△ 0.3	96.5	—
7月末	10,267	2.5	10,292	2.2	92.7	—
8月末	10,096	0.8	10,105	0.4	94.1	—
9月末	9,958	△ 0.6	9,912	△ 1.5	93.2	—
10月末	10,725	7.1	10,783	7.1	96.2	—
11月末	11,923	19.0	12,052	19.7	94.3	—
(期末) 2014年12月26日	11,549	15.3	11,680	16.0	94.9	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

### ●参考指数に関して

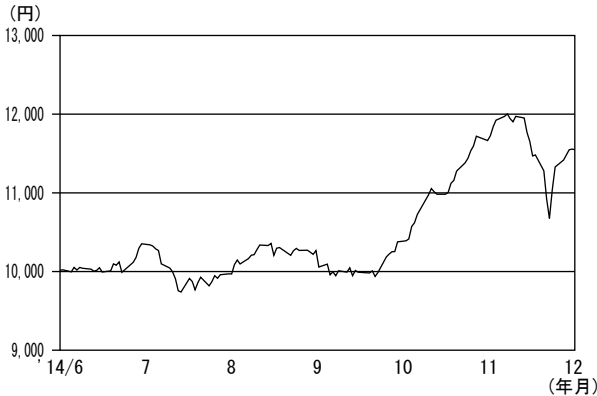
※J. P. Morgan GBI-EM Broad Turkey (円換算) は、J. P. Morgan GBI-EM Broad Turkey (現地通貨建、ヘッジなし) (出所: J. P. Morgan) の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により国際投信投資顧問が円換算したうえ当ファンドの設定日 (2013年7月22日) を10,000として指数化したものです。

※J. P. Morgan GBI-EM Broad Turkey (現地通貨建、ヘッジなし) : 情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したのですが、J. P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

以下、本報告書において、上記「参考指数に関して」の記載を省略します。

## ■ 運用経過

### ■ 基準価額等の推移について (作成対象期間：2014年6月27日～2014年12月26日)



当マザーファンドの作成対象期間中の騰落率はプラス15.3%となりました。

### ■ 基準価額の主な変動要因

#### ➢ 債券要因 (債券の利息や価格変動に起因するもの)

- ・トルコ・リラ建債券の相対的に高い利息収入を得られたことがプラスに寄与しました。
- ・トルコ・リラ建債券の利回りが低下 (価格は上昇) したことがプラスに寄与しました。

#### ➢ 為替要因 (為替変動に起因するもの)

トルコ・リラが円に対して上昇したことがプラスに寄与しました。

### ■ ベンチマークとの差異について (作成対象期間：2014年6月27日～2014年12月26日)

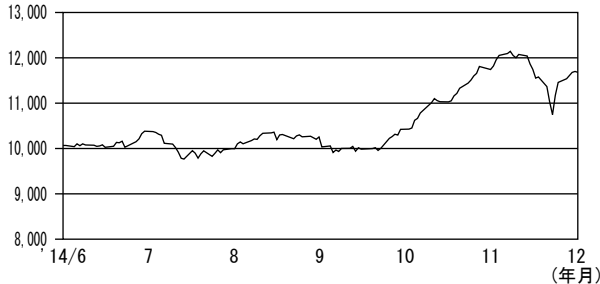
当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。当マザーファンドの作成対象期間中の騰落率はプラス15.3%、参考指数であるJ.P. Morgan GBI-EM Broad Turkey (円換算) の作成対象期間中の騰落率はプラス16.0%となりました。



## 投資環境について (作成対象期間：2014年6月27日～2014年12月26日)

### ＞債券市場の動向

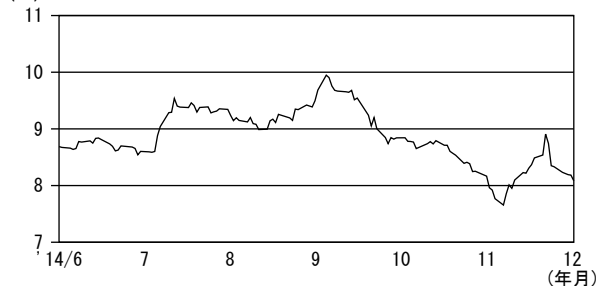
〈J.P. Morgan GBI-EMBroad Turkey (円換算) の推移〉



※当ファンドの参考指数は、J.P. Morgan GBI-EMBroad Turkey (円換算) です。

トルコ中央銀行が政策金利を引き下げたものの、米連邦準備理事会（FRB）の量的金融緩和終了への懸念を背景に、一時トルコ国債の利回りは上昇しました。しかしその後は、インフレ率が緩やかに低下したことや、需給の緩和を背景に原油価格が下落したことなどから、作成対象期間を通してみると利回りは低下しました。足元では、原油価格急落に伴い市場でリスク回避傾向が高まりトルコ国債が売られたことから、利回りはその低下幅を縮めました。

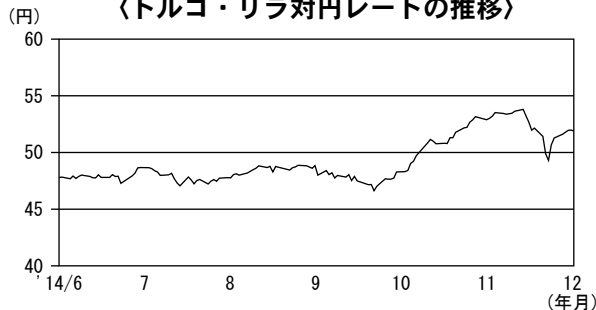
〈トルコ5年国債利回りの推移〉



(出所：Bloomberg)

### ＞為替市場の動向

〈トルコ・リラ対円レートの推移〉



(出所：投資信託協会)

日本銀行が10月に質的・量的金融緩和の拡大を決定したことや、原油価格の下落により資源輸入国であるトルコの経常赤字縮小期待が高まり、トルコ・リラ安圧力が緩和したことなどから、トルコ・リラは円に対して上昇しました。足元では、ギリシャの政情不安などを背景とした市場センチメント（投資家心理）の悪化からトルコ・リラに売り圧力がかかり、トルコ・リラはその上昇幅を縮めました。

## ポートフォリオについて (作成対象期間：2014年6月27日～2014年12月26日)

- ・当マザーファンドは、トルコ共和国の公社債（発行体の所在地はトルコ共和国に限ります。）を主要投資対象とし、これらの公社債を高位に組み入れて運用しました。トルコ・リラ建以外の公社債に投資した場合には、実質的にトルコ・リラ建となるように為替取引を行いました。
- ・投資する社債は、取得時においてMoody's社、S&P社、Fitch社のいずれかの格付けを有するものとし、ただし、取得時においてCCC格相当以下の格付けを有しているものには投資を行いませんでした。
- ・作成対象期間末の信用格付別の組入比率は、BBB格97.4%となりました。

(注) 信用格付別の組入比率は、Moody's社、S&P社、Fitch社の格付けのうち、上位の格付けを使用し、算出しています。  
(出所：Bloomberg)

### 債券種別組入比率

(単位：%)

種別	2014年6月26日	2014年12月26日
国債	85.8	84.4
社債	12.7	13.1
現金等	1.5	2.6
合計	100.0	100.0

(注) 組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率で、未収利息等を含みます。

### 通貨別組入比率 (為替取引考慮後)

(単位：%)

通貨	2014年6月26日	2014年12月26日
トルコ・リラ	98.3	96.8
米ドル	0.4	1.7
円	1.3	1.5
合計	100.0	100.0

(注) トルコ・リラ建以外の公社債に投資した場合には、原則として実質的にトルコ・リラ建となるように為替取引を行います。通貨別組入比率 (為替取引考慮後) は、マザーファンドの純資産総額に対する比率を記載しています。

## 今後の運用方針

- ・引き続き、当マザーファンドはトルコ共和国の公社債（発行体の所在地はトルコ共和国に限ります。）を主要投資対象とし、これらの公社債を高位に保つ方針です。トルコ・リラ建以外の公社債に投資した場合には、実質的にトルコ・リラ建となるように為替取引を行う方針です。
- ・投資する社債は、原則として取得時においてMoody's社、S&P社、Fitch社のいずれかの格付けを有するものとし、ただし、取得時においてCCC格相当以下の格付けを有しているものには原則として投資を行いません。

## ■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項 目	当 期 2014/6/27~2014/12/26		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 8 (8)	% 0.076 (0.076)	(a) その他費用 = $\frac{\text{期間中のその他費用}}{\text{期間中の平均受益権口数}}$ 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用等
合 計	8	0.076	

期間中の平均基準価額は10,494円です。

(注1) 期間中の費用（消費税のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期間中の平均基準価額（各月末の単純平均）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## ■ 当期の売買及び取引の状況（2014年6月27日から2014年12月26日まで）

### 公社債

		買 付 額	売 付 額
外 国	ア	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
	メ		
	リ	715	1,218
	カ		
ト	コ	千トルコ・リラ	千トルコ・リラ
	ル		
	国	3,767	2,772 ( 500)

(注1) 金額は受渡代金です。（経過利子は含まれていません。）

(注2) 金額の単位未満は切り捨てです。

(注3) ( ) 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

## ■ 当期の主要な売買銘柄 (2014年6月27日から2014年12月26日まで)

### 公社債

当			期		
買	付		売	付	
銘	柄	金額	銘	柄	金額
		千円			千円
TURKEY GOVT BOND 10.7%	16/2/24(トルコ)	59,139	TURKEY GOVT BOND 10.4%	24/3/20(トルコ)	105,085
TURKEY REPUBLIC 7.5%	17/7/14(アメリカ)	49,282	TURKEY REPUBLIC 7.5%	17/7/14(アメリカ)	53,436
TURKEY GOVT BOND 8.2%	16/7/13(トルコ)	47,473	TURKEY REPUBLIC 7%	16/9/26(アメリカ)	48,574
TURKEY GOVT BOND 9%	24/7/24(トルコ)	31,852	TURKEY REPUBLIC 5.625%	21/3/30(アメリカ)	37,797
TURKEY GOVT BOND 7.1%	23/3/8(トルコ)	30,570	TURKEY GOVT BOND 9%	16/1/27(トルコ)	12,132
TURKEY REPUBLIC 7%	16/9/26(アメリカ)	29,046	TURKEY GOVT BOND 6.3%	18/2/14(トルコ)	8,882
TURKEY GOVT BOND 10.4%	24/3/20(トルコ)	15,976	TURKEY GOVT BOND 8.8%	23/9/27(トルコ)	7,117

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てです。

## ■ 当期の利害関係人<sup>\*</sup>との取引状況等 (2014年6月27日から2014年12月26日まで)

### (1) 利害関係人との取引状況

区	分	当			期		
		買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公	社	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
	債	263	—	—	273	—	—
為	替	1,922	1,922	100.0	1,919	1,919	100.0
為	替	143	136	95.1	193	166	86.0
	直						
	物						
	取						
	引						

### (2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項	目	当	期
売	買		
委	託		
手	数		
料	総		
額	(A)		—千円
う	ち		
利	害		
関	係		
人	へ		
の	支		
払	額		—千円
(B) / (A)			—%

<sup>\*</sup>利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人は三菱UFJ信託銀行株式会社です。

## ■ 組入資産の明細

### (1) 外国（外貨建）公社債

区 分	額 面 金 額	当 期		組入比率	うちBB格 以下組入比率	末		
		評 価 額				残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ	千アメリカ・ドル 840	千アメリカ・ドル 927	千円 111,545	% 14.9	% —	% 9.0	% 5.2	% 0.7
ト ル コ	千トルコ・リラ 11,240	千トルコ・リラ 11,546	599,283	80.0	—	42.4	22.1	15.5
合 計	—	—	710,828	94.9	—	51.4	27.3	16.2

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注4) 一印は組み入れがありません。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注6) BB格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

### (2) 外国（外貨建）公社債銘柄別

区 分	種 類	銘 柄	利 率	当 期		末		償 還 年 月 日
				額 面 金 額	評 価 額			
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
ア メ リ カ	国 債 証 券	TURKEY REPUBLIC	% 7.0	千アメリカ・ドル 40	千アメリカ・ドル 43	千円 5,214	2016/9/26	
		TURKEY REPUBLIC	5.625	200	219	26,353	2021/3/30	
		TURKEY REPUBLIC	6.25	300	341	41,049	2022/9/26	
	社 債 券	AKBANK	6.5	300	323	38,928	2018/3/9	
小 計			—	—	—	111,545		
ト ル コ	国 債 証 券	TURKEY GOVT BOND	10.7	千トルコ・リラ 1,200	千トルコ・リラ 1,232	63,960	2016/2/24	
		TURKEY GOVT BOND	8.2	1,000	1,001	51,986	2016/7/13	
		TURKEY GOVT BOND	6.3	1,400	1,340	69,579	2018/2/14	
		TURKEY GOVT BOND	10.4	700	762	39,567	2019/3/27	
		TURKEY GOVT BOND	10.5	1,200	1,330	69,047	2020/1/15	
		TURKEY GOVT BOND	9.5	900	971	50,439	2022/1/12	
		TURKEY GOVT BOND	8.5	800	823	42,724	2022/9/14	
		TURKEY GOVT BOND	7.1	650	618	32,080	2023/3/8	
		TURKEY GOVT BOND	8.8	1,160	1,226	63,632	2023/9/27	
	TURKEY GOVT BOND	10.4	470	546	28,351	2024/3/20		
	TURKEY GOVT BOND	9.0	560	602	31,261	2024/7/24		
社 債 券	AKBANK	7.5	600	548	28,451	2018/2/5		
	TURKIYE GARANTI	7.375	600	543	28,200	2018/3/7		
小 計			—	—	—	599,283		
合 計			—	—	—	710,828		

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

## ■ 投資信託財産の構成

2014年12月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 710,828	% 94.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	39,834	5.3
投 資 信 託 財 産 総 額	750,662	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(740,229千円)の投資信託財産総額(750,662千円)に対する比率は98.6%です。

(注2) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、12月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=120.32円、1トルコ・リラ=51.90円です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てです。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2014年12月26日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	967,026,058 円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	19,852,154
公 社 債(評価額)	710,828,736
未 収 入 金	217,455,600
未 収 利 息	16,873,681
前 払 費 用	2,015,887
(B) 負 債	218,202,346
未 払 金	217,895,400
未 払 解 約 金	306,946
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	748,823,712
元 本	648,367,119
次 期 繰 越 損 益 金	100,456,593
(D) 受 益 権 総 口 数	648,367,119口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,549円

(注1) 損益の状況の中で

- ・ (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- ・ (C) 信託報酬等は外貨建資産の保管費用等のことです。
- ・ (F) 追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち追加元本との差額を処理する項目です。
- ・ (G) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 当マザーファンドの期首元本額は689,069,751円、期中追加設定元本額は119,462,232円、期中一部解約元本額は160,164,864円です。

(注3) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、トルコ債券オープン(毎月決算型)が替アクティブヘッジ52,803,853円、合計648,367,119円です。

(注4) 1口当たり純資産額は、当期末11,549円です。

## ■ 損益の状況

当期(自2014年6月27日 至2014年12月26日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	28,991,793 円
受 取 利 息	28,991,793
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	73,925,311
売 買 益	110,971,472
売 買 損	△ 37,046,161
(C) 信 託 報 酬 等	△ 539,786
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	102,377,318
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,093,573
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	7,527,462
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 10,541,760
(H) 計 (D+E+F+G)	100,456,593
次 期 繰 越 損 益 金(H)	100,456,593

(余 白)

**國際投信投資顧問**